

11. 家庭用電気品 HOUSEHOLD ELECTRIC APPLIANCES

11.1 電動機応用機器

11.1.1 扇 風 機

33年度扇風機のうち、特色あるものとしては、20 cm 卓上扇ポルカ、30 cm 御座敷スタンド扇ホニスタ、ハープスタ、および40 cm 卓上扇ウェービーがあげられる。

20 cm ポルカ（第1図）は、ファン外側に加速ケーシングを設けて、ファンから出た空気をケーシング内部において自由拡散させずに完全に加速を行わせるという、従来の扇風機の観念を脱却した新しい構想によるものでこのケーシングの作用により 25 cm なみの大きな風速を出すことができた。さらにモータを正逆両回転として正回転の時は上に述べたケーシングの作用により大きな風速を、逆回転の時は後方向に周囲に広がった軟いそよ風を送るようにし、またベースはロータリー式、俯仰も上下180度自由など多くの特長をそなえさせた。

30 cm 御座敷スタンド扇（第2図）は、高さを33 cm から45 cm まで自由に調節できるもので、滑かに作動する独特の上下調節機構をそなえている。

40 cm ウェービー（第3図）は、従来の4枚羽根にかえて新形の3枚羽根およびコンデンサモータを用いて性能の向上を計り、デザインも堂々としたものである。

また33年度は、ほとんど全製品にわたって送風効率の向上、モータの改良など基本的な性能向上に努力した。すなわち主流である30 cm 高級扇においてモータはすべて高性能のコンデンサモータに統一し、これらのうち、大部分には一昨年度ゼフィールで好評を博した高性能3枚羽根を用いて一段と製品内容を充実させた。

また羽根に高純度アルミニウムを着色化学処理した羽根を用いた30 cm 高級扇ソレイユは、意匠上好評であった。

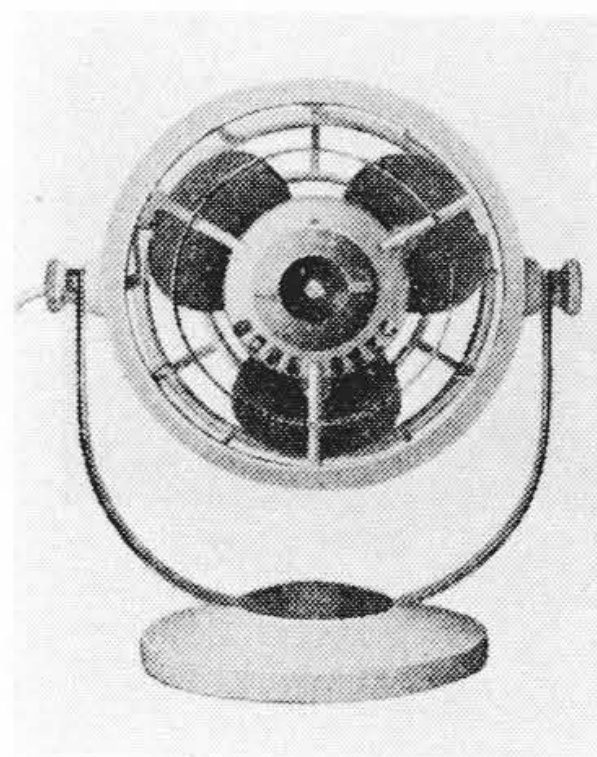
11.1.2 電気洗濯機

洗濯機が普及するにつれて洗濯方式、取り扱いの便利さ、意匠など種々の点で要望が多くなってきた。33年度は次のような新製品によりこれらの要望に応じ、増産を続けてきた。

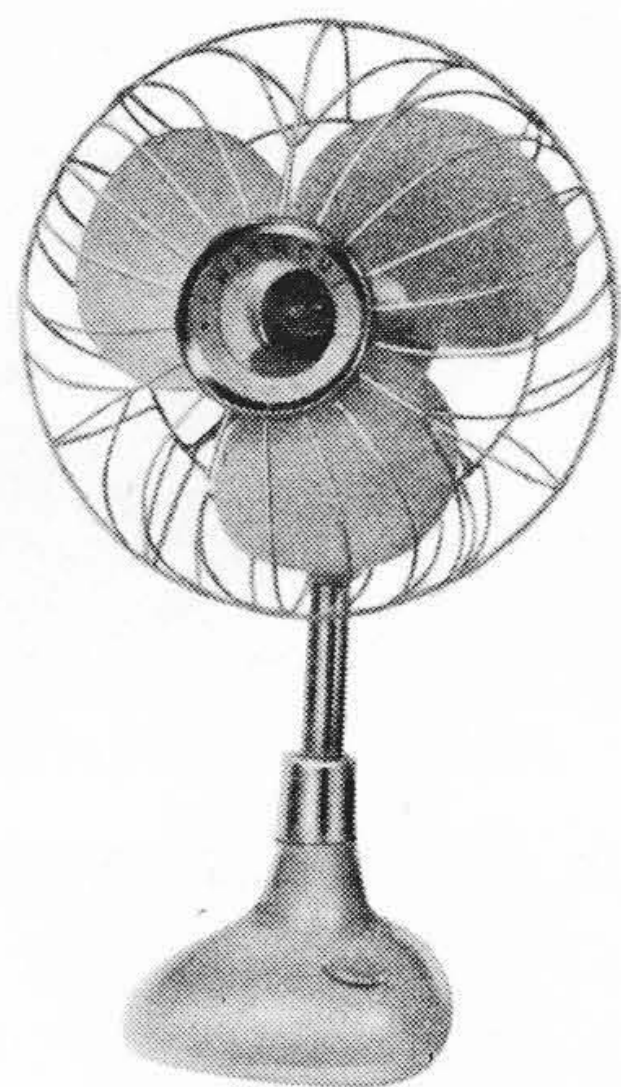
（1）SH-PT₂₁ 形自動翼付移動渦巻式洗濯機

本機の洗濯方式は、SH-PT₂₀ 形と同様、画期的な強弱切換方式のパルセータを使用した移動渦巻式であるが次のような改良を加えたものである。

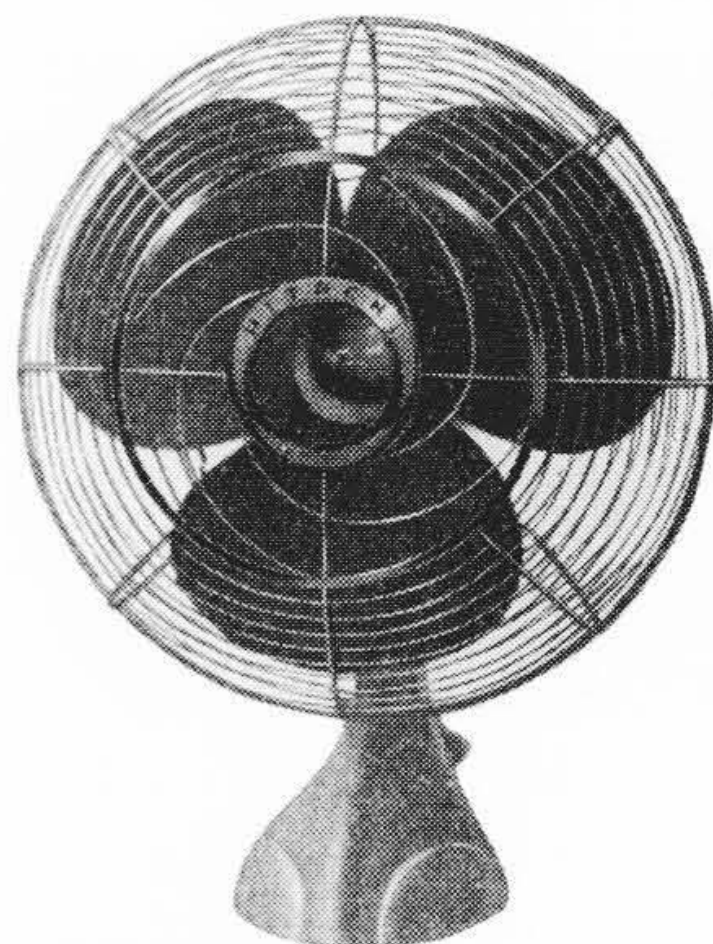
前蓋、飾り銘板を大きくし豪華なデザインとし、絞り機は薄物から厚物まで好適な絞りができるように圧力調整式とした。また洗濯槽の口幅を広げて洗濯物の出し入れに便利を計った。



第1図 20 cm 卓上扇ポルカ



第2図 30 cm 高級御座敷スタンド扇ホニスタ



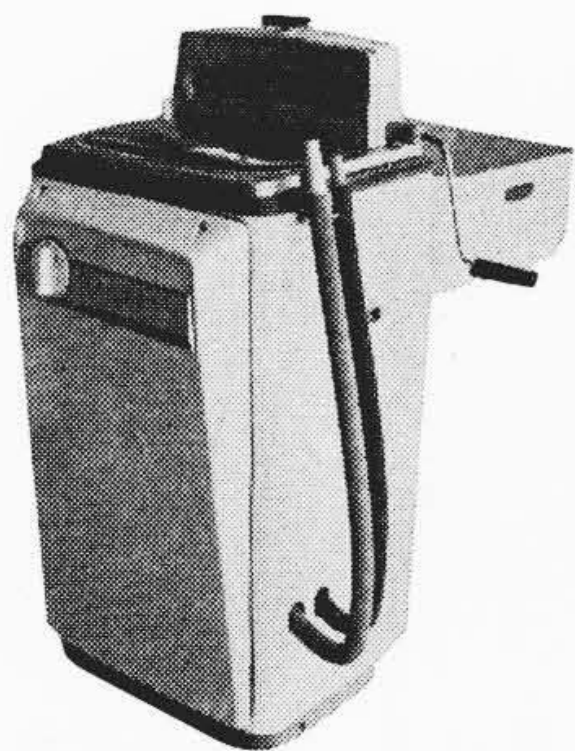
第3図 40 cm 卓上扇ウェービー

（3）SH-AT₃₀ 形攪拌式洗濯機

本機は従来の攪拌方式を脱却し、振れ羽根と直線羽根を組合せた新攪拌羽根を採用した新形である。この羽根の特長は洗濯物に対流（直線羽根の作用）と回流（振れ羽根の作用）動きを与えるもので、従来形に見られない布動きと均一な洗浄結果が得られる。本機の洗濯容量は2 kg で、外廓寸法もSH-AT₂₀ 形より大きくした。絞り機は大形の圧力調整式を用い、減速ギヤボックスは平歯車を使用し伝導効率を向上させた。

（2）SH-PT₂₂ 形移動渦巻式洗濯機

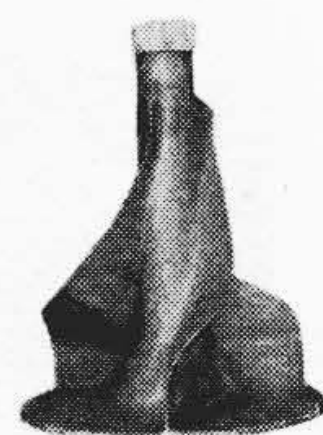
本機は特殊形状の固定翼パルセータを用いた普及形である。パルセータはその羽根部を写真のように木の葉形とし、両側縁を立ち方の異なったアルキメデス曲線として、これを正または逆回転させることにより強弱2段切換



第4図 SH-PT₂₁形自動翼付移動渦巻式洗濯機



第5図 SH-AT₃₀形攪拌式洗濯機



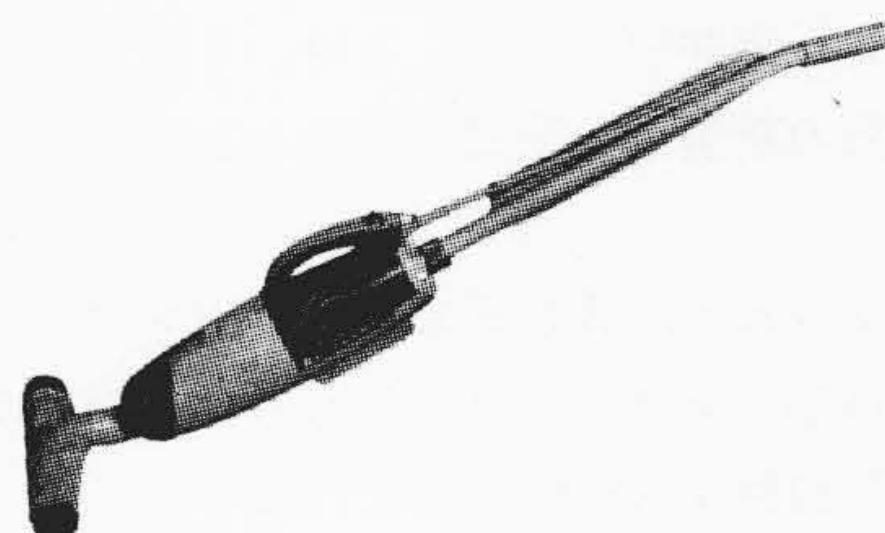
第6図 SH-AT₃₀用攪拌羽根



第7図 SH-PT₂₂形移動渦巻式洗濯機



第8図 SH-PT₂₂用パルセータ



第9図 U-T1形270W電気掃除機

を行うものである。洗濯機の大きさおよび容量などはSH-PT₂₀形と同じであるが、外観をエレガントな意匠とし、また絞り機は取り扱いやすいカバー付とした。

11.1.3 電気掃除機

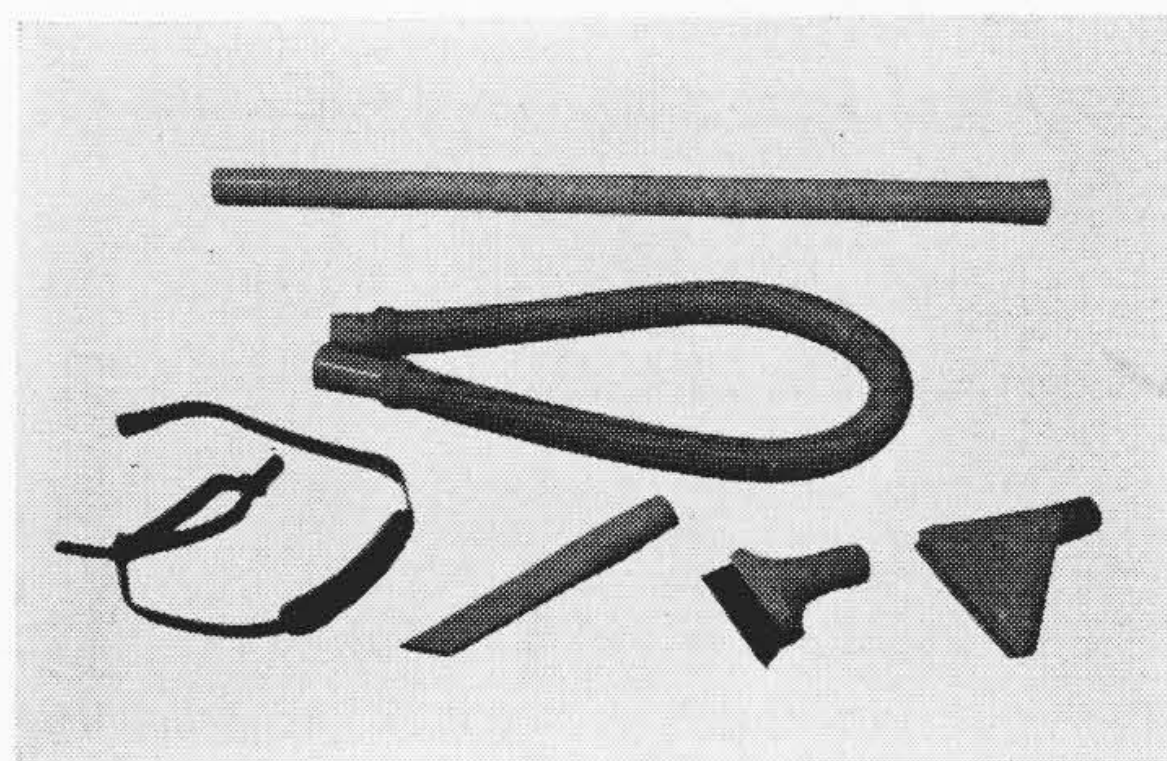
33年度の電気掃除機は従来品の改良のほか、新機種としての手押式掃除機 U-T1 形を開発し、従来品の騒音の徹底的改良を計った C-V3 形を完成した。

(1) U-T1 形 270 W 手押式掃除機

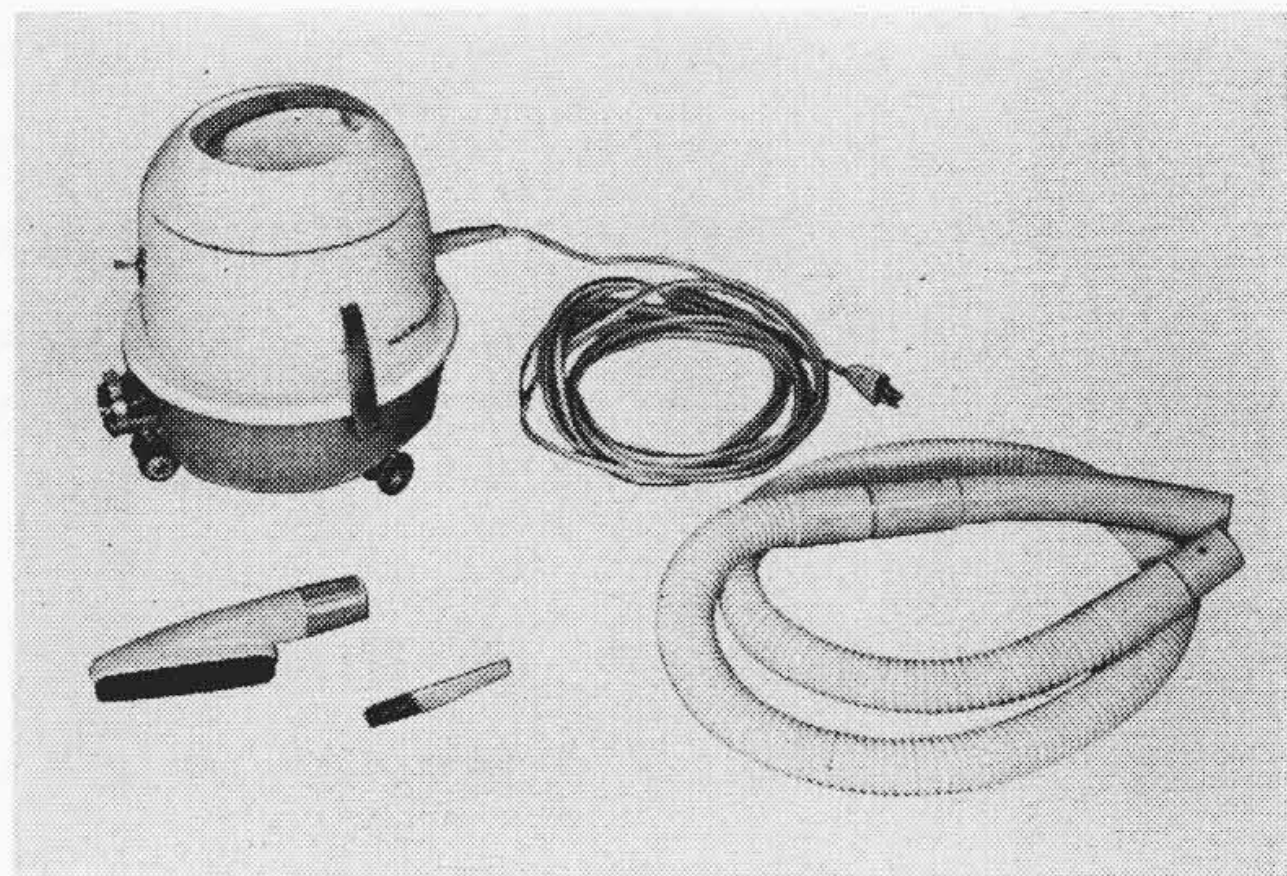
ホースや延長管を使わずに床の掃除ができるように、本体に直接吸口とハンドルを取り付けた形で、吸口部の回転自在構造により、従来の手押式の欠点である操作性の悪いことを解決した。また強弱調節スイッチを設けて吸塵力と騒音の調節を可能にし、吸口の位置に無関係に床に密着するブラシの構造など新しい試みを採用した。本形は主として床面掃除用であるが、ビニルホースなど応用部品一式も付けられる。

(2) C-V3 形 300 W 縦形掃除機

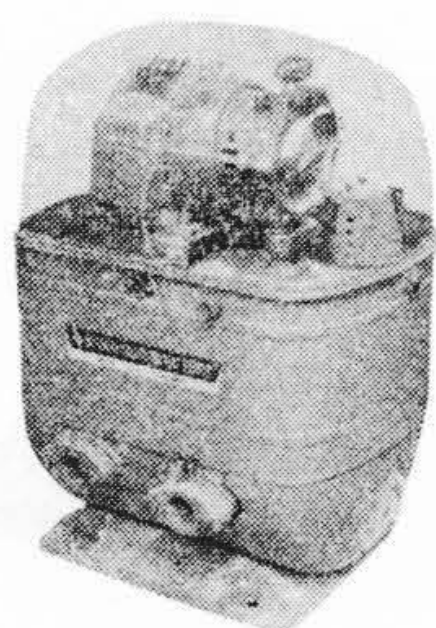
家庭用の主流機種をねらったもので、軽量で移動性の良いこと、ビニルホースの採用により操作が楽になったこと、塵の処理しやすいフィルタ式を用いたことなどにより実用性の徹底的改良を施し、また防音構造により騒音の著しい低減を計った。



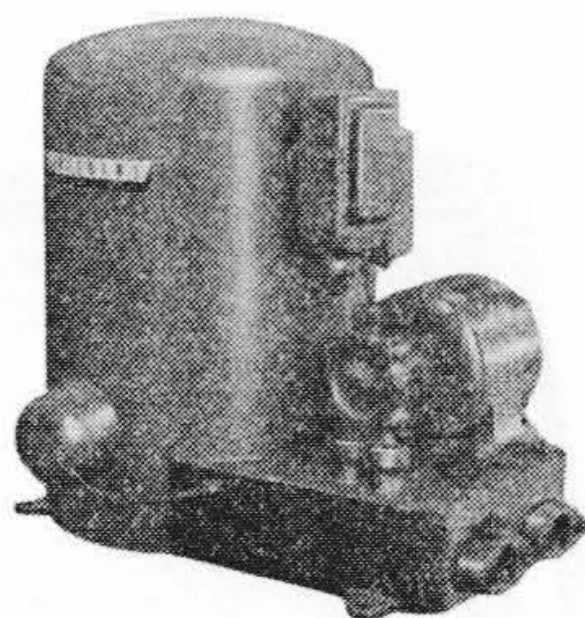
第10図 U-T1形270W電気掃除機応用部品



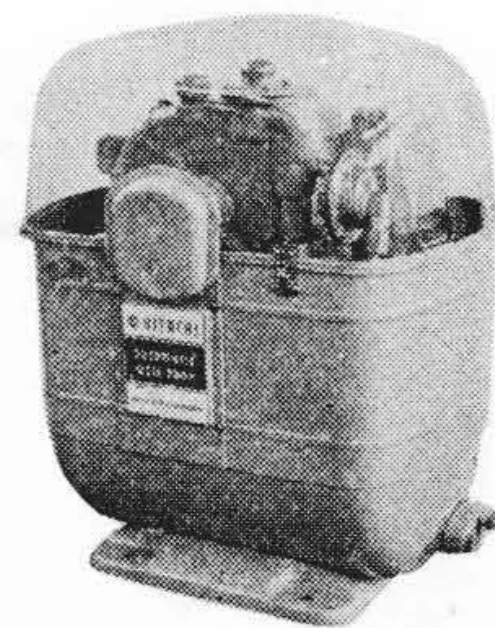
第11図 C-V3形300W電気掃除機



第12図 1号E形
浅井戸ポンプ



第13図 9号A形
浅井戸ポンプ



第14図 TRT-F₁₅₁形
深井戸ポンプ

11.1.4 電気ポンプ

33年度の電気井戸ポンプは1号E形、8号E形、9号A形浅ポンプ、JRT-F₁₅₁形深井戸ポンプおよび三相の1号E形、2号浅井戸ポンプ、3号、5号C形深井戸ポンプなど多数の新製品を完成し質量ともにいっそうの向上をみた。

(1) 1号E形、8号E形浅井戸ポンプ

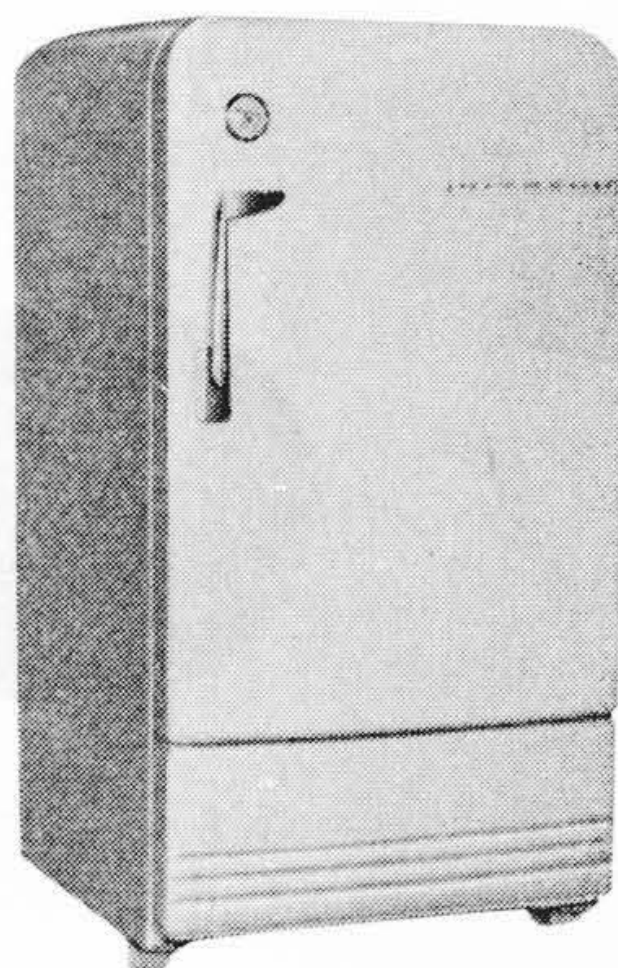
従来のD形ポンプを改良したもので、斯界にさがけて付属した自動空気補給装置を内蔵させて保温効果を高め、保温用電球の点滅スイッチおよびターミナルボックスを設け、揚水側送水側双方のフランジを同じ側に位置させるなど据付、配管、取り扱い、保守がいっそう便利な構造とした。

(2) 9号A形浅井戸ポンプ

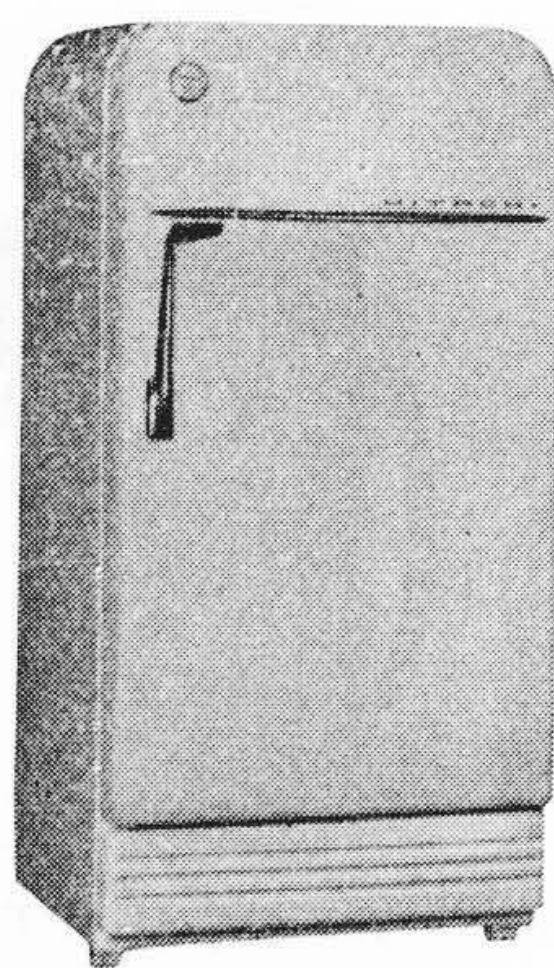
営業用や共同使用に最適な揚水量の多い自動式浅井戸ポンプで、2極の400W三相モートルを使用してポンプ部分を小形化した。大容量のタンクを使用した上に自動空気補給装置付で、またヒューズボックスを設けモートルの保護にも十分留意してある。

(3) JRT-F₁₅₁形深井戸ポンプ

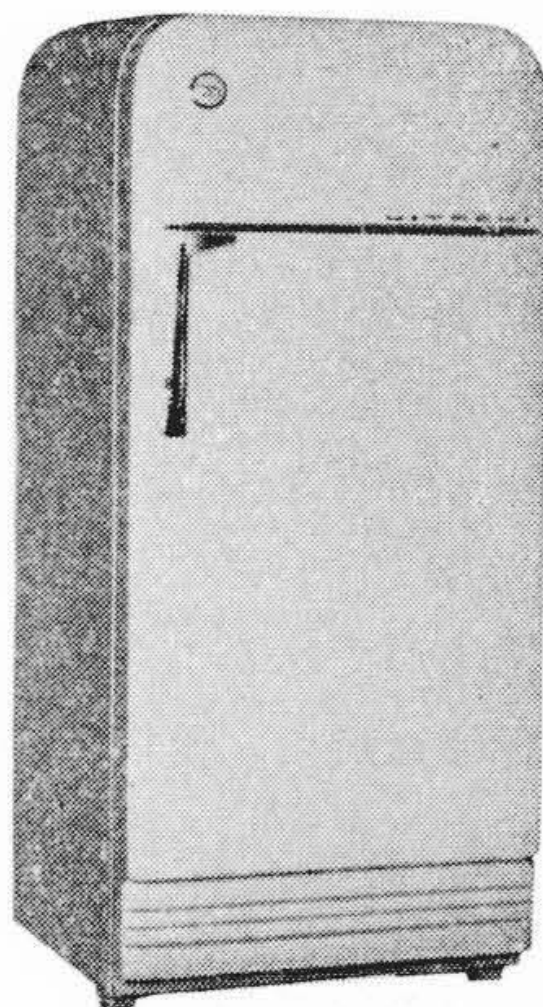
従来一般にジェットポンプは効率がきわめて低いとされていたが、これを2割も向上することに成功したので、日立として高性能の自動式深井戸用ジェットポンプを初めて発表した。ジェット部とタービンポンプとを組合せて深井戸用としたもので往復動ポンプに比べて横引も可能、運転が静粛、起動が容易、修理が便利などの利点がある。150Wのコンデンサ起動モートルを使用し、透明カバー付の独特の防寒装置付密閉形、保温電球用の点滅スイッチ付、最も小さく設計されたジェット部など幾多の特長をもち、普及形深井戸ポンプとして最適のものである。



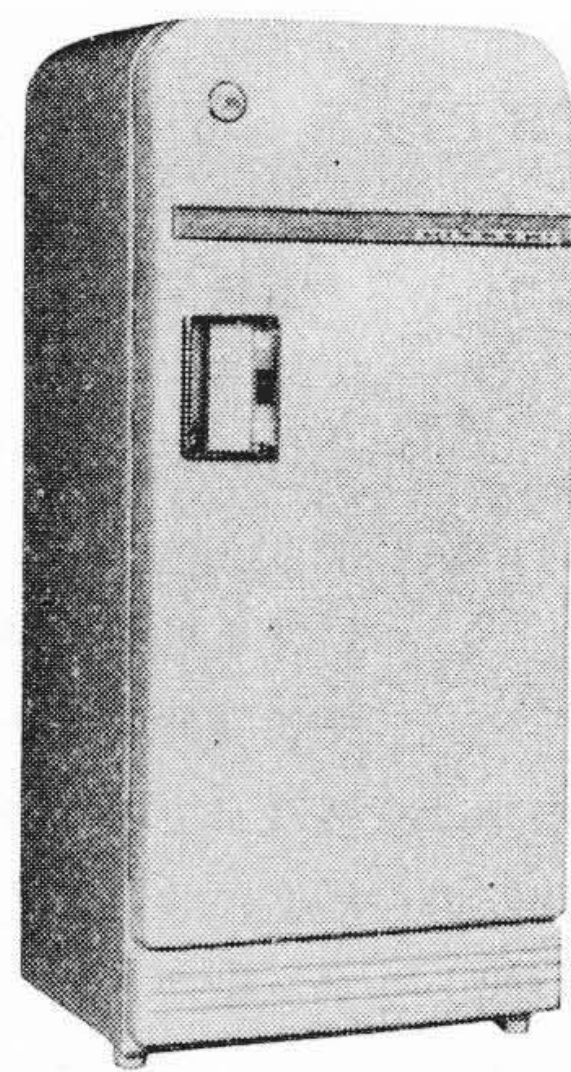
第15図 LA-25形
電気冷蔵庫



第16図 LA-30形
電気冷蔵庫



第17図 LB-40形
電気冷蔵庫



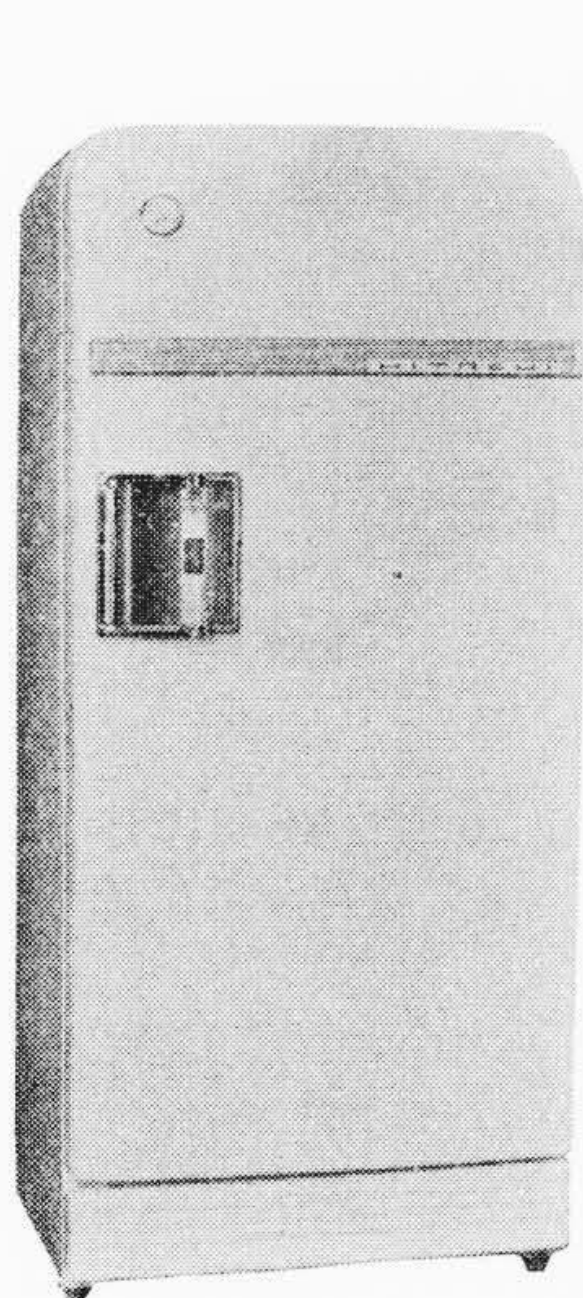
第18図 LC-55形
電気冷蔵庫

11.2 冷凍機器

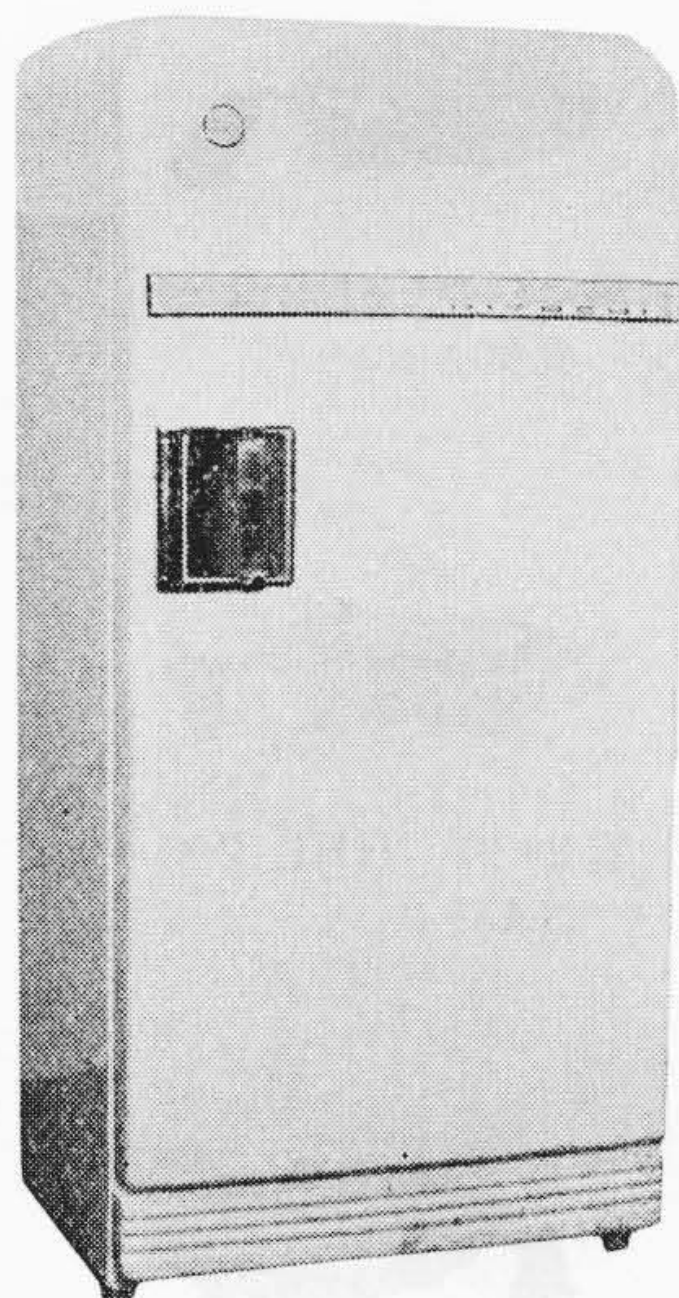
家庭電化の急速な普及に伴い電気冷蔵庫をはじめとする家庭用冷凍機器は各社ともこぞって増産に専念してきた。33年度の電気冷蔵庫の国内生産量は約40万台で昨

年度の生産量23万台のほぼ倍となった。一方国内景気の停滞に伴いいわゆる値崩れもみられ激しい販売戦がくり広げられた。日立電気冷蔵庫はこの激甚な競争の中にあってその優秀な性能と斬新なデザインとによりよくこれを克服して着々その成果を収めてきた。

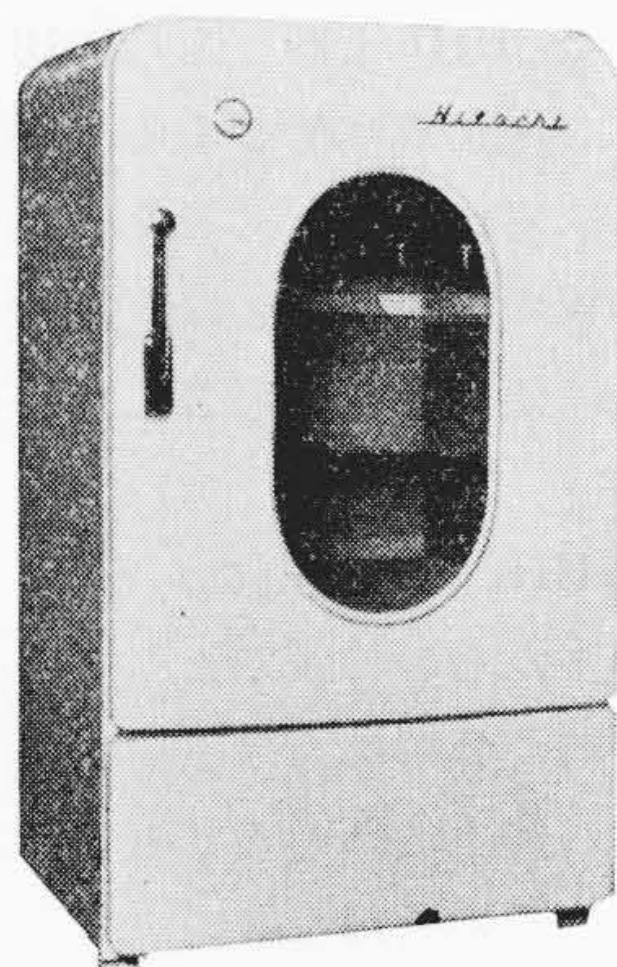
33年度は内容積260ℓ（9立方呎）の豪華版をはじめ



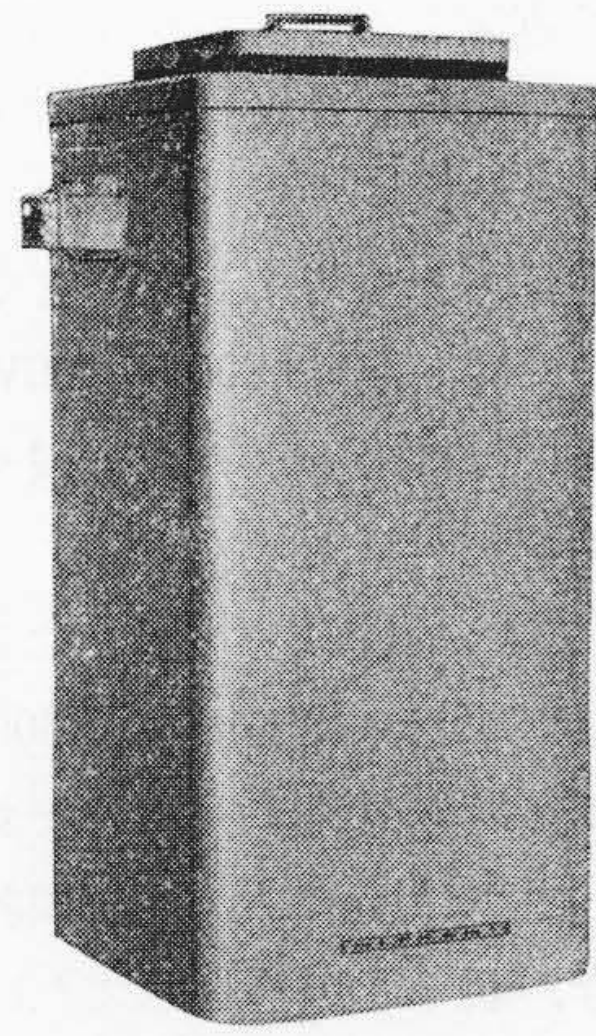
第19図 LC-70
電気冷蔵庫



第20図 LD-90
電気冷蔵庫



第21図 バタークーラ



第22図 アイスクリ
ームストッカー

とし LC 70 形, LC 55 形, LB 40 形, LA 30 形および LA 25 形の 6 機種を生産し家庭用, 業務用, 保健用, 学校ならびに研究室用そのほかあらゆる方面の用途に即応できる態勢を整えた。本年度は全機種ともデザインを更新しことに据付面積が少なく有効棚面積が大であること, および冷却性能のすぐれたアルミシート製の全幅形蒸発器を採用し日立電気冷蔵庫の大きな特長として斯界をリードした。

電気冷蔵庫の新しい使い方として扉前面に二重ガラスの窓を配したバタークーラを製作し新たな市場を開拓した。アイスクリームストッカーは LS 17 形および LS 10 形の 2 機種を生産しその蒸発器にはアルミシートを用いて冷媒の通路に独得の工夫を凝らして庫内温度を -20°C とした。日立アイスクリームストッカーの安定した性能は需要者の絶大なる信頼と賞讃を得ている。

11.2.1 新形電気冷蔵庫について

33 年度の日立電気冷蔵庫の特筆すべきことは, 画期的な東洋一のオートメーション工場の新設とともに新感覚の飛躍的デザインを採用し, 外観内部構造, 内容, 性能の充実を計った。なお機種も従来の 5 機種に対して, LA-25, LA-30, LB-40, LC-55, LC-70, LD-90 の 6 機種とし家庭用にも業務用にもあらゆる方面の需要を満足した。すなわち

- (a) 据付面積が小さい。
- (b) エバポレータ (冷凍室) が非常に大きい。
- (c) 棚の段数を増し有効棚面積を増した。
- (d) 庫内灯を内蔵形とし有効内容積を増した。
- (e) 扉の内側にポケットを新設または増加し収容能力を増した。

(f) アルミシートのエバポレータを採用した。

(1) LD-90

最高級の電気冷蔵庫で多量の冷凍食品の貯蔵と多量の氷が急速に作れる全幅形アルミシートの冷凍室を採用した。棚網は貯蔵品の高さに応じて上下の調節可能で食品の出し入れにも便利な引出式になっており, 果実, 野菜類の貯蔵に最適な大容量引出し式野菜容器とバター入れの付属した四段ポケットは内容を飛躍的に充実した。

そのほか内蔵形庫内灯鍵付のビットラッチ方式角形ハンドル, 洗練された庫内配色は化粧バンドを中心に金色の白熊マークと優美なプラスチック製の化粧板をつけた表面デザインは実用と豪華さを兼ね備えたデラックス版である。

(2) LC-70, LC-55

表面デザインも内容も LD-90 の姉妹品としての高級電気冷蔵庫である。

(3) LB-40, LA-30

外観も内部も画期的な新感覚のデザインを採用した家庭用実用的電気冷蔵庫としての決定版で, 特に LA-30 は小形にもかかわらず全幅形冷凍室を備え, ポケットもビールも入る 2 段のポケット, 内蔵形庫内灯などヒット製品となった。

(4) LA-25

小形普及版として外観性能もともに LA-30 に劣らない一般家庭向の普及版となった。

そのほか冷蔵庫の応用製品として扉正面に透明の窓をあけたバタークーラが営業用として多量生産され好評を博した。

11.3 電 熱 器

(3) SHL 1 形電気こんろ

電気こんろを台所から座敷に移し入れたものとして、その新しい形態が好評であった HHL 1 形こんろに切替スイッチを設けたものである。従来 600W こんろは切替付であっても 600W と 300W に変化するだけであったのに対し、断-200W-400W-600W の 4 段切替となり煮物そのほかの調理の火加減や保温に便利となって著しく用途を拡大した。

(4) HHL 2 形電気こんろ, HHL 3 形電気こんろ

いずれも需要の多い 600W のこんろの普及形としてバリエティを増したものである。特に 2 形における皿状のベースは煮こぼれや調理物の汚れが下に落ちることを防ぎ、新しい形としてだけでなくその効用も多い。

11.3.1 電気厨房器具

(1) RS-810, 610 形 1 升炊自動電気釜

一昨年発売した 6 合炊自動電気釜に引続き 1 升炊を製作した。この製品は 800W と 600W の 2 種類があり、家庭の電源容量に応じたものが選べること、内蓋をつけ保温効果を上げ熱効率を良くした点、底釜に美しい塗装をほどこし、調度品としての色彩設計を考慮したなど、幾多の改良がほどこされている。

(2) TS-1 形キッチンタイマ

家庭生活のオートメーション化に一步近づくものとして、キッチンタイマ（時計スイッチ）が喜ばれている。日立製作所で初めて置時計式としたもので、時計としても使えること、針を希望の時刻に合せるだけで自動的に電気の切、入、ができるなど使いやすく好評を得ている。容量は 100 V 10 A, 1 kW までの家庭電気品に使用できる。

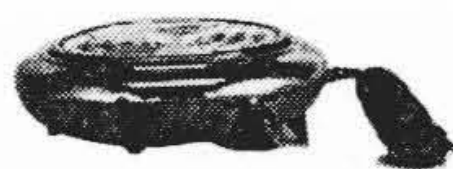
(3) 電気スーパーミキサー

強力なモータと独特のスクエードカップ、鋭利なカッターによるすぐれた性能はすでに定評のあるところで、MJ1-3 形スーパーミキサーにおいてもますますその特長を発揮している。これに加えて従来のミキサーが持ち運びにとかく不便であったものを改良して、本体およびカップに大きな把手を備え、本体にカップをのせたままでも、あるいは本体とカップを分けて両手にもつことも容易にできるようにしたものである。

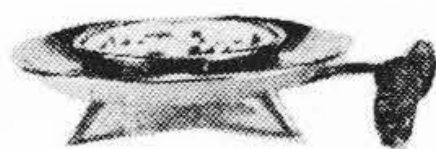
直巻電動機を使用する器具の常として使用時間が比較的短いものではあるがラジオ障害がとかく問題となりがちのものであるので、本機には 3 個のコンデンサを挿入して十分に雑音防止の効果をあげている。

11.3.2 電気暖房器具

家庭電化器具のなかでも比較的安価なこの電気暖房器具類の普及は最近著しいものがあるがそれだけに種類



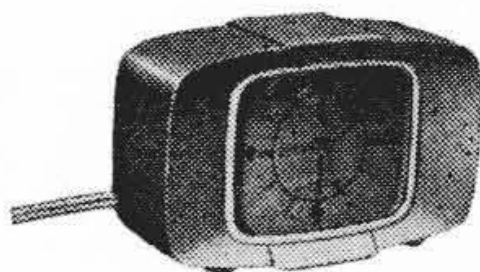
第 23 図 SHL 1 形
電気こんろ



第 24 図 HHL 2 形
電気こんろ



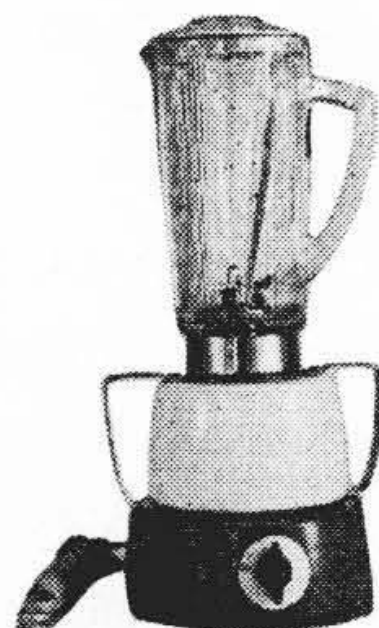
第 25 図 HHL 3 形
電気こんろ



第 27 図 TS-1 形
キッチンタイマ



第 26 図 RS-810 形
1 升炊自動電気釜



第 28 図 MJ1-3 形
スーパーミキサー

も豊富で次々と新しい製品が現われている。日立でも 33 年は 27 機種 45 品目におよぶ製品の発売をしたが以下新製品をあげる。

(1) VH-628 形 600W 反射形ストーブ

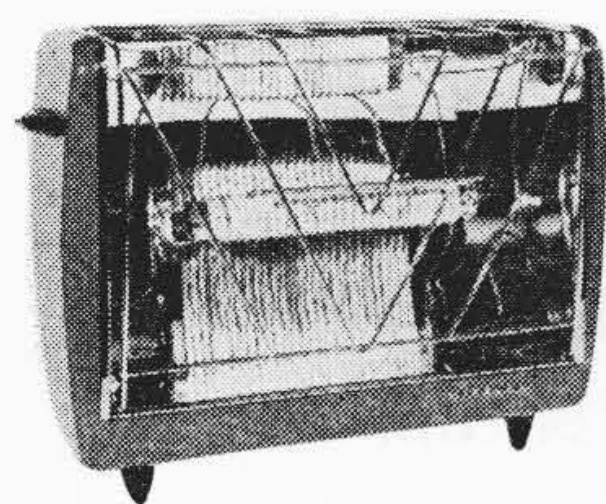
角形の美しいデザインで後脚の開きにより角度の調節ができて、側面にスイッチを有している。

(2) VC-118 形 1.2 kW 反射対流形ストーブ

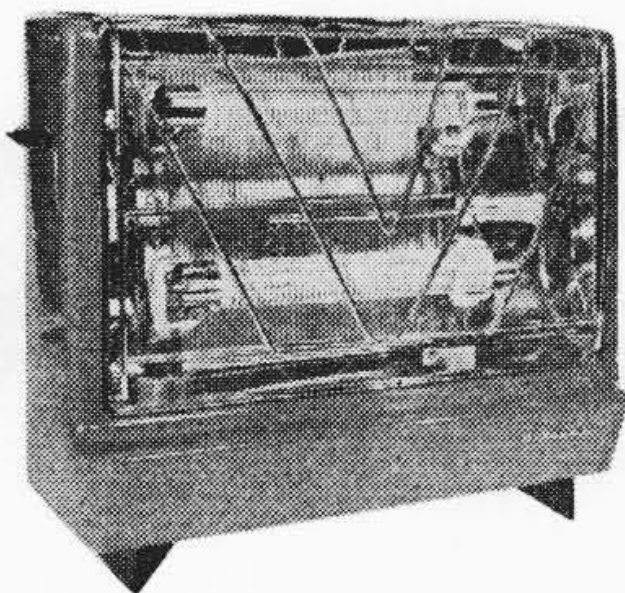
2 本のボビンと能率の良い反射板をそなえた安定した箱形である。側面にスイッチがあつて、1.2 kW と 600W に切替えが可能であるが 600W の場合も 2 本のボビンのいずれも半減される構造なのでスイッチの切替により放熱の方向が変わることはない。

(3) KY-318 形電気やぐらこたつ

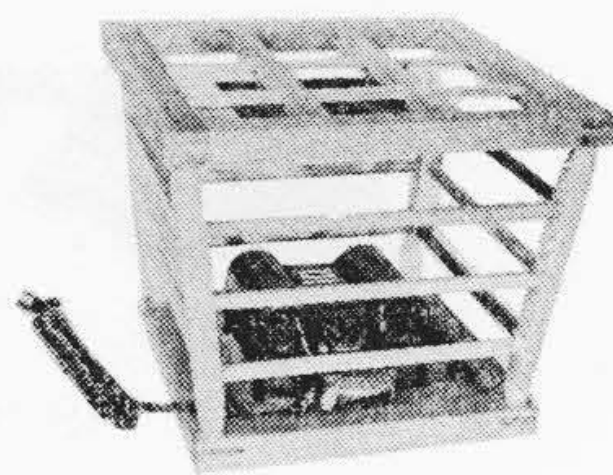
昔から大衆に親しみの深い置こたつのやぐらの中に電気こたつを組込んだものであるが、下方がせまくなったやぐらの構造、四方同一構造で均等に熱が放散される構造によって炭火の置こたつとまったく異なった新しい能率の良いこたつになっている。特に付属の四脚枠を組んで使用した場合には、その四脚を張った丈夫な構造によって冬の間の一家団らんの中心として食卓にも娯楽の



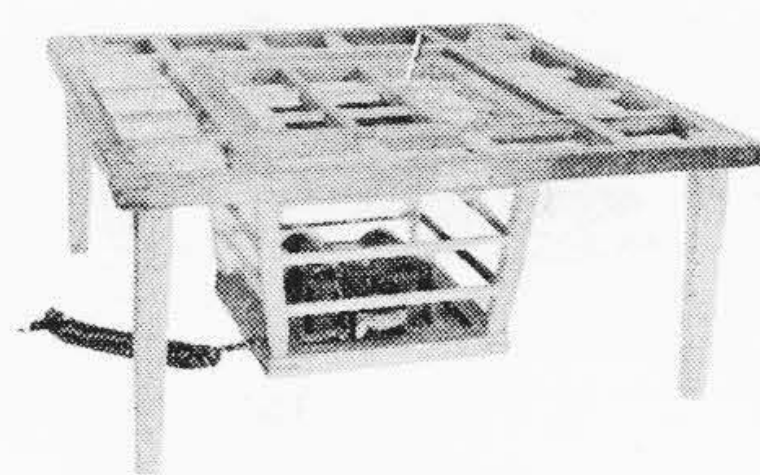
第 29 図 VH-628 形
電気ストーブ



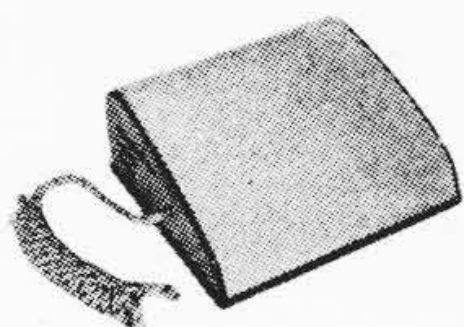
第 30 図 VC-118 形
電気ストーブ



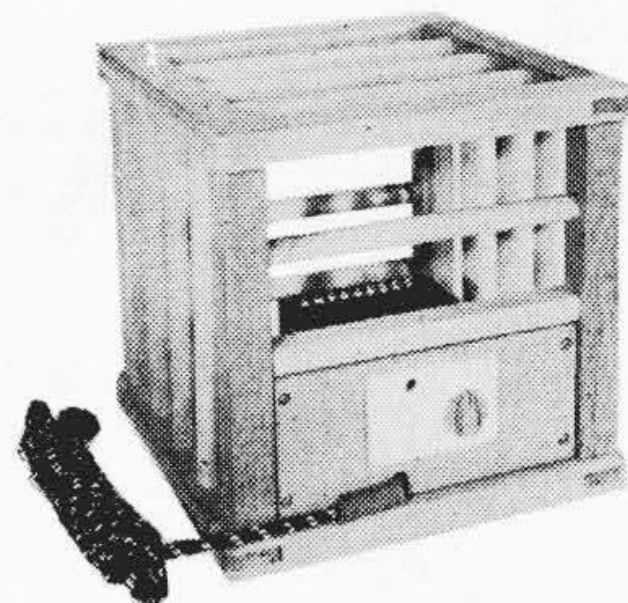
第 31 図 KY-310 形
電気やぐらこたつ



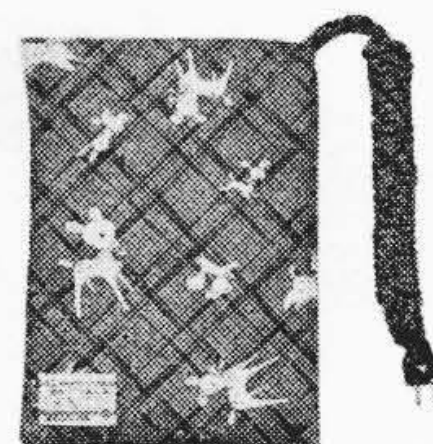
第 32 図 KY-310 形
電気こたつ



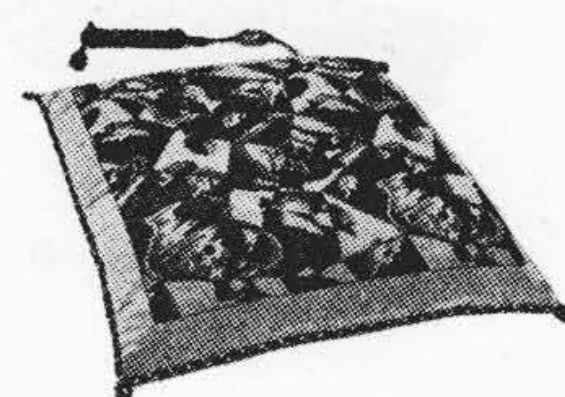
第 33 図 AS-618 形
電気あんか



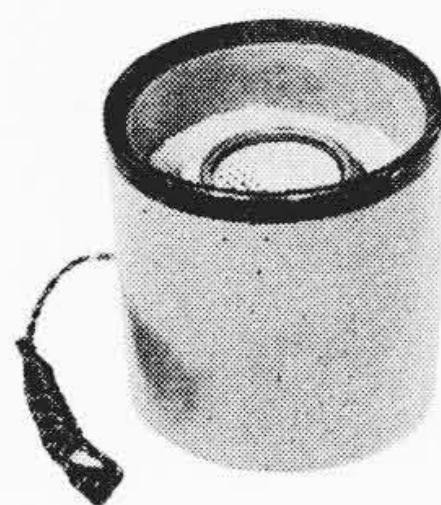
第 34 図 AY-118 形
電気あんか



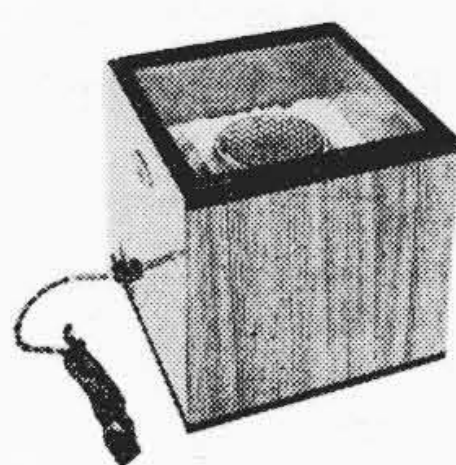
第 35 図 AP-318 形
電気ソフトあんか



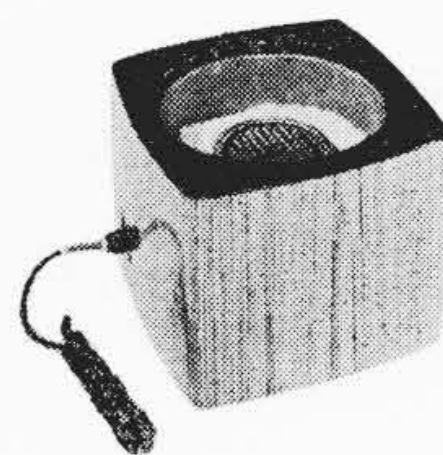
第 36 図 FZ-428 形
電気座布団



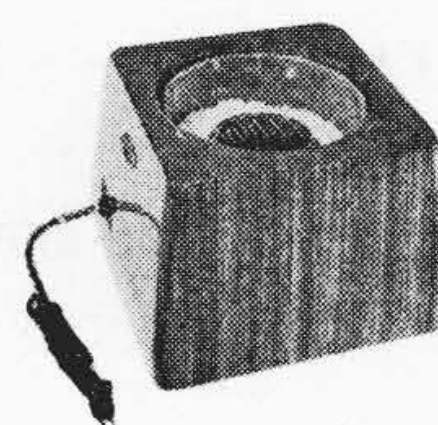
第 37 図 BS-318 形
電気火鉢



第 38 図 BS-328 形
電気火鉢



第 39 図 BS-338 形
電気火鉢



第 40 図 BS-348 形
電気火鉢

台にも兼用されるものである。

(4) AS-618 形山形あんか

独特な山形はあんかとして布団に入れても、あるいは足温器として使用してもよく、全面に張ったビロードの感触とともに便利さが喜ばれる。

(5) AY-118 形電気やぐらあんか

小形の木製やぐらに仕込んだ 100W のあんかで、起居時にこたつとして使用してもよく、布団に入れてあんかとして使用すれば 2、3 人で共用することもできる。

(6) AP-318 形ソフトあんか

従来のあるかの概念を超越し、新しいあるかの方向を示すものであって、布製で柔軟なことは身体にも馴染み感触が良い。就寝時のあんか、腰当てはもちろん、かいり足温器から温しっぽ用にもなり広範囲な用途をもっている。

(7) FZ-428 形電気大形座布団

豪華な金華山織の最高級表布を使用し、使用心地の良

く 30~40℃ 位の温度を保つように 2 個の自動温度調節器を備えて、火災防止を完全に行っている。

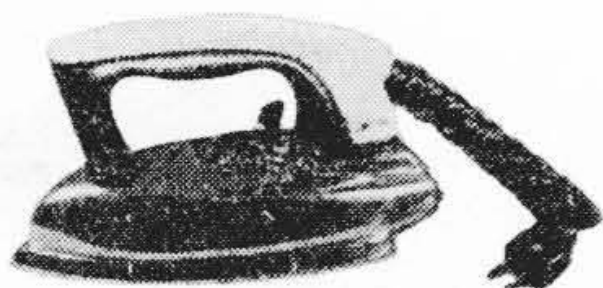
(8) BS 形電気火鉢

丸、角、変り角、高級角形の 4 種をそろえて、使用場所や顧客の好みに応じ得るよう考慮し、いずれも堅牢で高級な塗装によって木地を生かした落ついた形態をなしている。火桶を着脱自在にしたことにより、煙草の吸がらなどにより汚された灰を容易に掃除できる構造となっているのも大きな特長である。

11.3.3 電気アイロン

化学繊維の発達により、布地の種類は最近非常に増加しているが、化繊は一般に熱に弱く、アイロン温度も布地によって調節しなければならない。布地の最適の温度に自動的に調節されるのが、AIK-1 形自動アイロンである。アイロンの効果を十分発揮させるため 500W の容量をもたせた速熱式アイロンである。

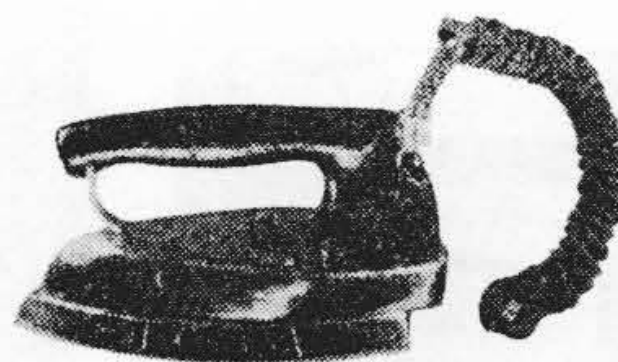
またアイロン掛は熱と湿気を利用するものであるが、



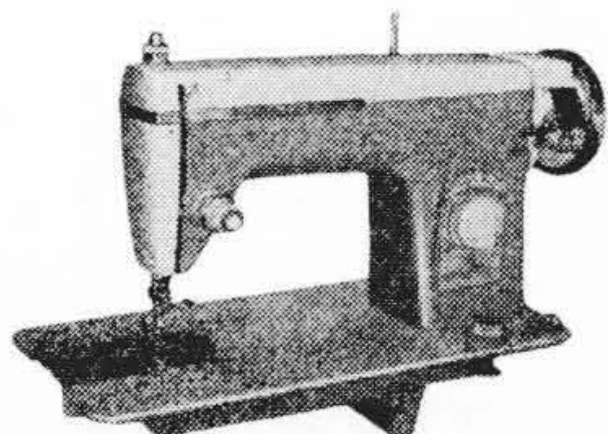
第41図 AIK-1形
自動アイロン



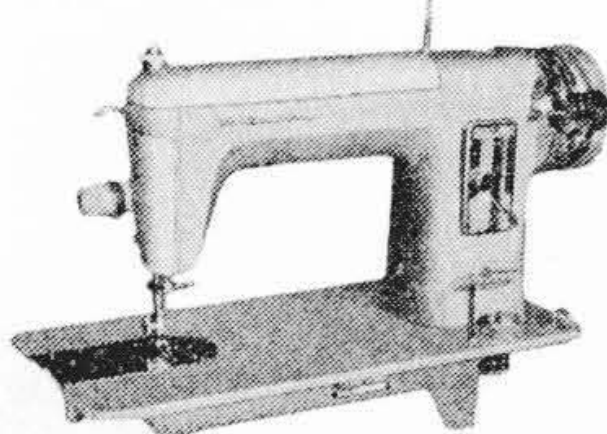
第42図 IS-310形
スチームアイロン



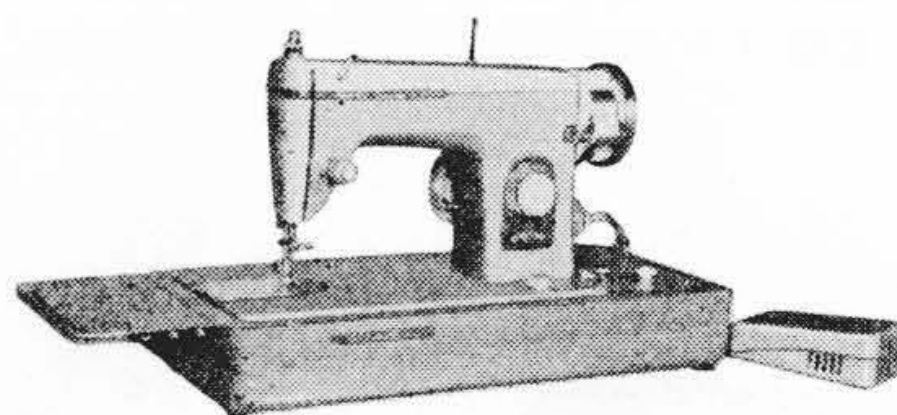
第43図 IH-410形
電気アイロン



第44図 HLT-400形
ミシン



第45図 HCT-301形
ミシン



第46図 HLM-400形
電気ミシン

湿気の効果を利用するとともに、家庭でドライクリーニングを行えるようにしたものが、IS-310形スチームアイロンである。スチームの量が多く、強い浸透力をもつこと、どの布地にも使える掛面温度になっているなど、多くの特長をもっている。

いずれもツートンカラーの美しいデザインである。

そのほか300W、400WのIH-310、IH-410形普通アイロンを新製品として製作した。

11.4 ミシン

最近のミシンはその形も丸形から角形に色調も黒一色から各種の明るいものに移行してきた。機構の点においても本来の縫うという仕事に変わりはないが、いかにして快適な縫調子がえられるかについて各所に改良が加えられている。

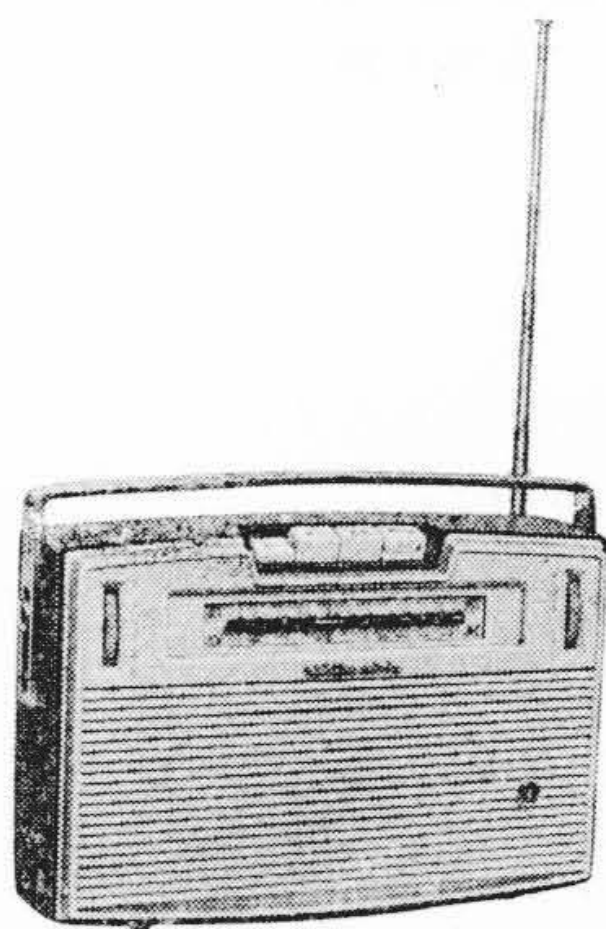
最新形日立ミシン HLT-400形は縫目の調節や前後進縫いが自由にできるダイヤル調節器、厚物から薄物まで送り歯を調節する四段切替式ドロップフィード、常に手許を明るく照らすビルトインミシンライト、ダイヤル式上系調節器、静粛運転のリンク式天秤等々が、ツートンカラーの近代的な色調とあいまって部屋の高級調度品にもなっている。この他足踏式ミシンとしてHCT-301、HLT-210、HCT-220がある。また各種足踏ミシンの頭部にミシンモートルをつけ、手頃なケースに格納した卓上形電動ミシンおよびミシン仕事をしない時には、勉強机や仕事机にも転用できる豪華なキャビネット形ミシンなどがある。

11.5 ラジオ、電蓄およびテレビ

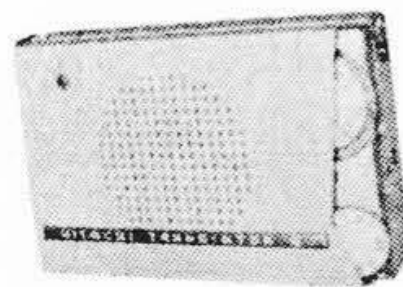
ラジオ受信機のトランジスタ化が急速に発展しつつあ

るが、優秀な日立トランジスタを基礎にして、多機種にわたる高品質のトランジスタポータブルラジオが開発され、海外にも多数輸出されている。また家庭における2台目、3台目のラジオやハイファイラジオの需用増、FM実験放送の開始にこたえて、小形から大形ハイファイ、FMラジオに至るまでの広範囲にわたる機種ของホームラジオを製品化して好評を得ている。

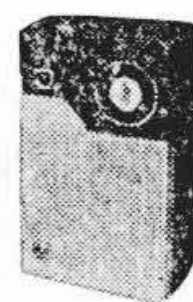
日立電蓄については早くからその実現を期待する声が強かったが、33年度に画期的なステレオシステムの電蓄が業界に出現したのを機会にいよいよオールステレオ



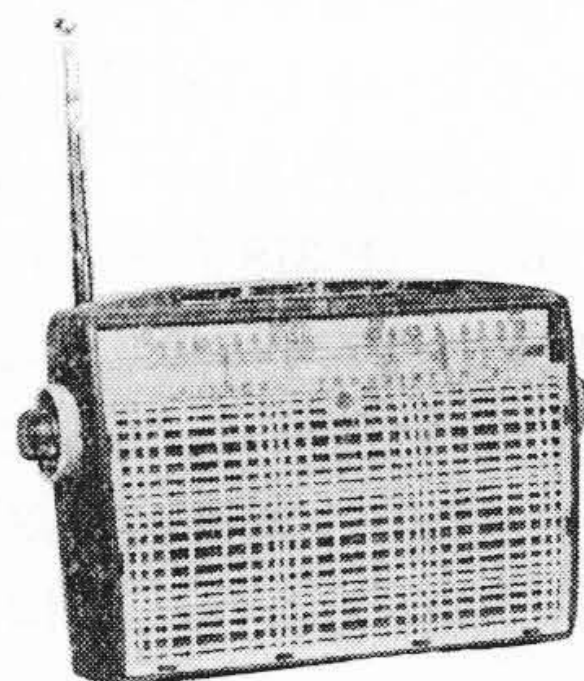
第47図 WH-720
7石2バンドトランジスタラジオ



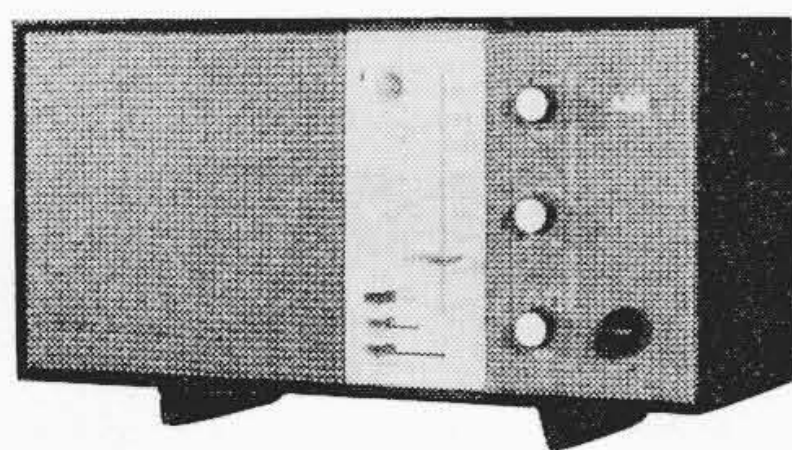
第48図 TH-667 6石
トランジスタラジオ



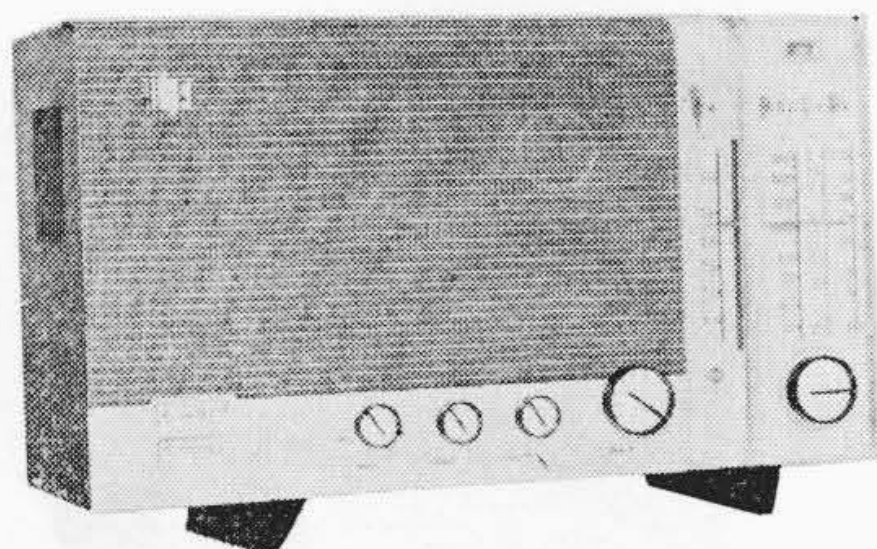
第49図 TH-666 6石ト
ランジスタラジオ



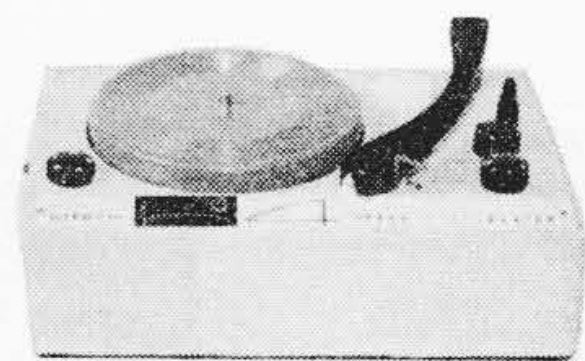
第50図 “ジュディ”
WH-676 6石2バンド
トランジスタラジオ



第51図 S-524 5球2バンド
HiFi ラジオ



第52図 “ノラ” F-800 形8球
4バンドAM-FM ラジオ



第53図 R-070 形ステレ
オ・レコードプレーヤー

システムを採用した、レコードプレーヤー、卓上電蓄、グランドホニク高級電蓄を発売した。

テレビ受信機は放送局の増設と価額の低廉化による急速な需用の増大を示しているが、普及度が高くなるに従って受信機の安定度や、画質、音質がかなり専門的に吟味されるようになり33年度はこれら要望に沿うべく原材料から超短波技術に至るまで日立独自の総合技術を駆使して大幅な故障率の低減、画質、音質の向上がなされ大いに成果をあげた。

11.4.1 ラジオ

過去1箇年にトランジスタラジオ、真空管式ラジオともに多数の新機種を発表した。これらは国内の需要に應ずるのはもちろんであるが、トランジスタラジオは遠く欧米に毎月大量に輸出されている。このうち代表的セットを紹介する。

- (1) トランジスタラジオ WH-720: 日立ドリフトトランジスタ HJ-32 を用いた7石セパレートコンバータ方式の本格的2バンドポータブルで、本機はプッシュボタンスイッチを使用して、操作の簡便化を計っており、また短波用フェライトアンテナを使用し内蔵アンテナのみで短波受信を可能としてある(第47図)。
- (2) TH-667: 温度補償用サーミスタ付6石スーパーヘテロダイン方式で、1:6のバーニヤ式ダイヤルを採用、これにより選局を容易にしてある。また音響系を特に考慮しポータブルでありながら大口径スピーカを使用し音響能率および音質の向上を計ってある(第48図)。
- (3) TH-666: 6石式ポケットタイプのトランジスタラジオとして世界最小である。その寸法は100mm×60mm×35mmでワイシャツのポケットや、婦人のハンドバッグにも入り、特に明瞭度に留意し、スピーカおよびキャビネット構造の改良によりその目的を達した(第49図)。
- (4) “ジュディ” WH-667: 6石2バンドポータブルで、セルフコンバータ回路に特種なIFシャント回路(特許出願中)を併用しきわめて高感度とすることができた(第50図)。



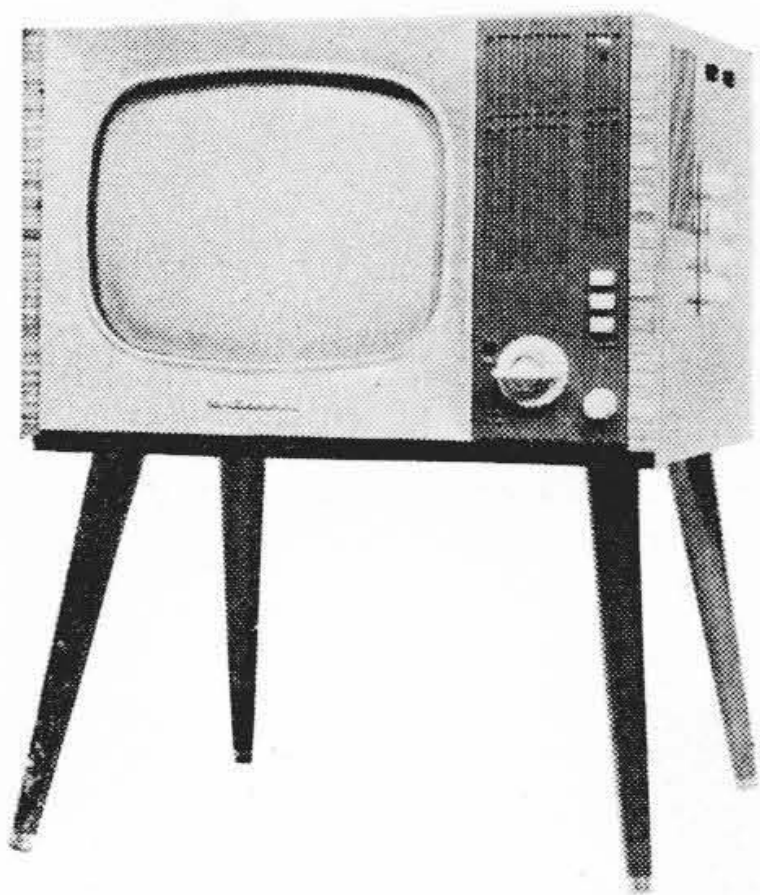
第54図 PFG-1100 グランドホニク高級電蓄

- (5) ホームラジオ S-524: 5球2バンドのHiFiラジオで真空管式としては類の少ないプリント配線方式を採用して製品のばらつきをおさえ高性能製品の量産を容易ならしめた(第51図)。

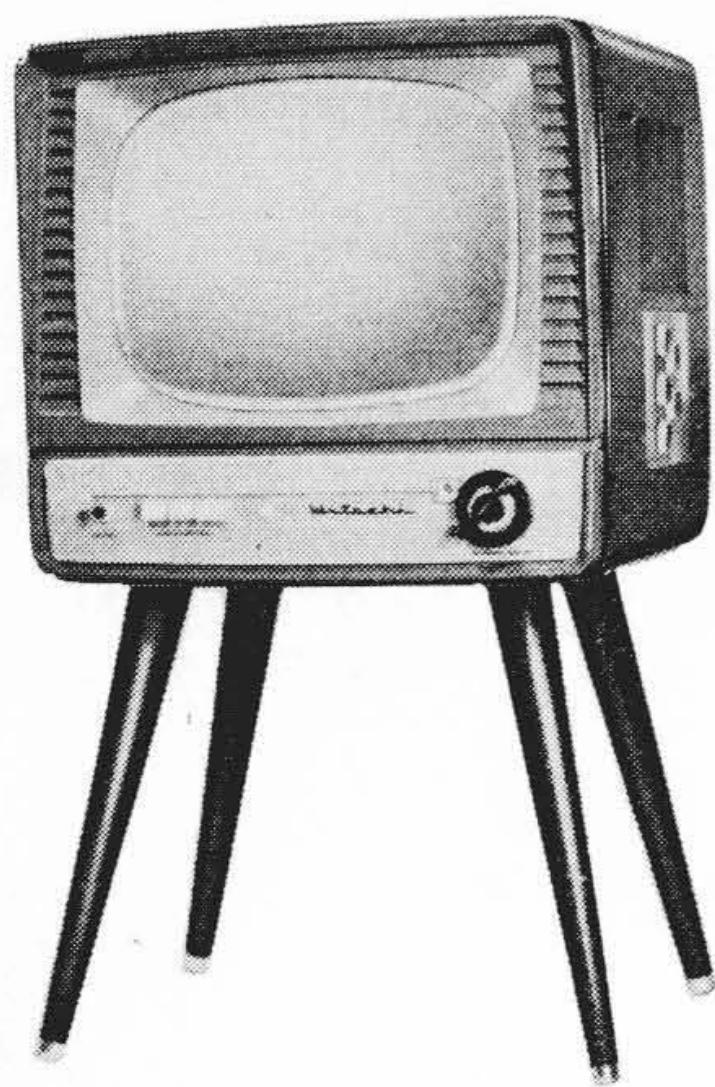
- (6) “ノラ” F-800: 4バンド8球AM-FMラジオで特に高忠実度FM受信を目標とし、音響系は3ウェイ4スピーカ方式を採用して、ダイナミックな臨場感をもった音質とすることができた(第52図)。

- (7) R-070 ステレオレコードプレーヤー: 16 $\frac{2}{3}$, 33 $\frac{1}{3}$, 45, 78回転の4スピードモーター付で普通のレコードはもちろん、2台のラジオを併用すればそのままステレオ(立体)レコード演奏ができる最新形の高性能レコードプレーヤーになっており、またピックアップはターンオーバー式ロネット形サファイヤ針付で、針圧7グラムのハイファイクリスタルピックアップである。

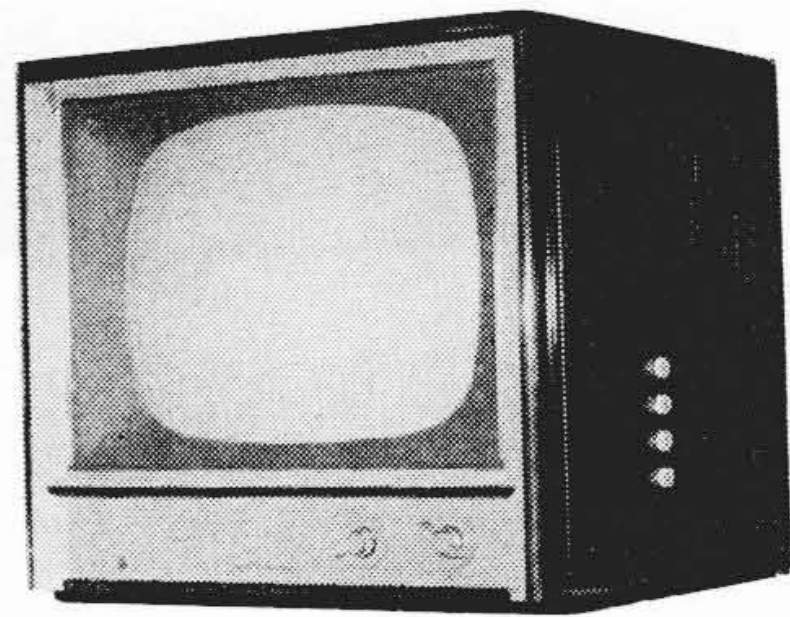
- (8) PFG-1100: 日立グランドホニク、本機はハイファイアンプ(AF-1100)とステレオレコードプレーヤー(R-1100)、ハイファイスピーカボックス(ES-1100G)の三つの部分から構成された最高級電蓄である。特に本機のアンプは中波、短波をはじめFM放送



第55図 FMY-320G
テレビジョン



第56図 “シルビア” FMY-470
テレビジョン



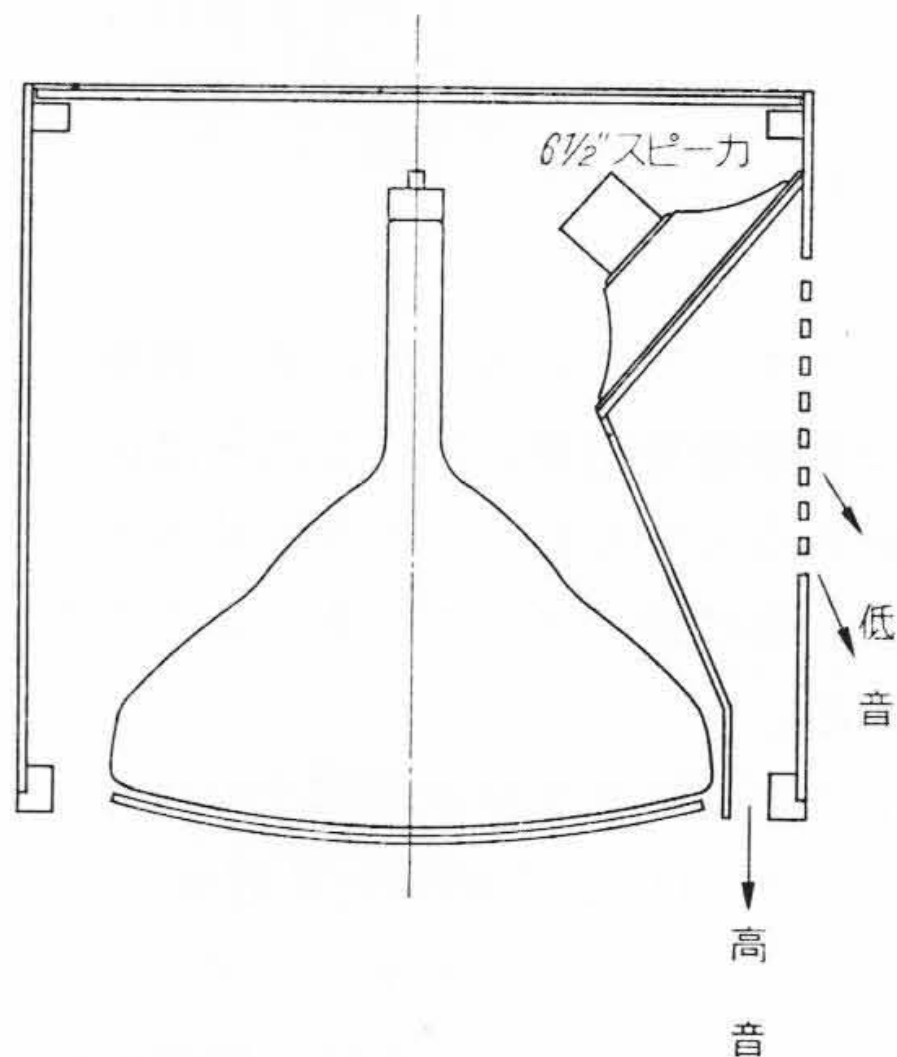
第57図 TOMY-100
テレビジョン

も受信できるラジオチューナ，レコード演奏回路，テープレコーダ，マイクロホン再生回路などを備えた高性能総合アンプになっており，またスピーカボックスは4個のハイファイ専用スピーカを組込んだ独得のバスレフキャビネットで，演奏会場のふんいきをかもし出す豪華な音響デザインになっている。

11.4.2 テレビ

合理的なデザインと大幅な価額低減を実現した FMY-520 をはじめコンソレットタイプの FMY-320 G，メタルキャビネットを使用した FMY-770，およびビデオコントロールを実現した“シルビア” FMY-470 など特長ある 14in 各機種を発表するとともに普及形 17in 受信機としてさらに 原価低減と 安定度の 向上を図った SMY-490 および最高級超遠距離用の 21in 受信機 TOMY-100 などにより広汎な需要層に応える製品系列を確立した。これらの各機種はいずれもチャンネル増設計画発表に即応して 12 ch 実装に切り替えを行った。

性能面では無理のない前面音方式を実現するため，丸形高級スピーカを使用したシネラミックサウンドシステムの確立（実用新案申請中）（FMY-320 G，FMY-770，“シルビア” FMY-470，SMY-490）とともに，放送内容に応じ押ボタン切替により常に鮮明で安定度の高い画像を楽しめる独特のビデオコントロールを実現（特許申請中）（“シルビア” FMY-470）して日立テレビの評価を一段と高めた。シネラミックサウンドシステムはスピーカをキャビネット側面に傾斜して取り付けることにより高音部を直接正面より放射して指向性を改良できるほかに小形楕円スピーカ（4in×6in 程度）の前面取り付けによる方式に比べると音質の向上が可能でしかも構造的制約をまぬがれうる利点をもっており，またビデオコントロ



第58図 シネラミックサウンドシステム構造図

ールは映像中間周波コイルの一部にコイルまたはコンデンサを接続または短絡することにより増幅特性を変化させ，信号の内容および周囲条件などに応じ常に鮮明でみやすい画像の再生を可能にするとともに A. G. C. 回路の作用により強，中，弱電界入力では切り替えによるコントラストの変化などを伴わず，また微電界入力では逆に D. X. の状態で使用することにより感度ならびに同期の安定化が可能という従来いずれのセットにもない特長をもっている。

また回路ならびに構造研究に力を注ぎ，使用材料の検討を加えて性能面での飛躍の基礎を固めるとともに，大幅な故障率の低下や性能の安定化ならびに原価低減の成果を収めた。